

2015年6月30日

多胡 葉子

部長主題

わたしとあなたの Y's ダムを YMCA と共に

-ユース・交流・地域-

“Y's dom is yours and ours. Let's share it with YMCA

- Youth, Friendship and Community -

部長所感

ワイズはYMCAの活動をサポートする団体であるという事を改めて意識しての与えられた六甲部部長としてのスタートでした。特に神戸YMCAは新館建築はじめ多くの視点から変化の時が与えられています。地域の中で必要とされるYMCAの存在をどのようなかたちで六甲部としてサポートできるのかという事が課題でした。そしてたとえ小さな活動でもYMCAに関わる一人一人が地域で、学校で、職場で、家庭で生き活きと輝く事が出来ればと願って関わってきました。この思いを六甲部の各クラブメンバー一同と共有し、YMCAのスタッフと共に種々なる活動に取り組みわずかながらも成果へと繋がったのではと感じています。

ワイズ活動を始めて27年目になりますが、部長職を通して一層ワイズの活動の魅力、ワイズのメンバーとの交流の楽しさを与えられた日々に皆様方の多大なるお支えがあったこと思い深く感謝いたします。

活動報告

Yサ・ユース事業

1. 11/3 チャリティラン

約1,300人の参加者が神戸しあわせの村に集いユースのメンバー、小学生、障がいのある子どもたちもともに楽しみました。ワイズは各クラブが出店をしてチャリティに協力が出来ました。

2. 1/17YY フォーラム

神戸栄光教会で阪神淡路大震災20年の追悼にあわせて「ともに痛み、希望に生きる」をテーマに震災YYフォーラムを開催。震災リーダー会、ユースリーダーによる発表などユースと共に震災を考え震災ボランティアの働きを考える機会を得ました。

3. 7/27~8/1・3/31~4/4 東日本大震災支援募金活動

ユースリーダーと共に二回実施し、407,232円が捧げられた。

4. 3/21~30 タイワークキャンプ支援

各クラブから 10 万円づつの支援をし、5 人のユースリーダーを派遣。帰国後各クラブで報告会を実施。

5. アジアユースコンボケーションへ 7 人のユースを六甲部から推薦。

次期会計から 7 人の参加費の一部を負担。

その内訳は YMCA 日本語学科の留学生 3 人、啓明高等学院の 3 年生の生徒 4 人。

地域奉仕・環境事業

1. 1/24 神戸 YMCA 支援チャリティイベント

カトリック神戸中央教会で「すべての『いのち』がひかり輝くように」のテーマのもと開催された。

この事業は部長主題にそっての行事として実行委員会形式で、各クラブから有志が集まり、委員会を毎月一回の割合で開催。YMCA 活動の新たな拠点となる新会館建設に向けての支援金のため、また広く地域に根ざす YMCA の活動を周知していただく目的をもって開催した。このチケットの売上金と各クラブからの献金をあわせて 110 万円を神戸 YMCA 新館建築資金として六甲部から献金を捧げることができた。

2. 東日本大震災被災地支援

1) 西宮クラブが中心となって 10 月に宮古・盛岡・仙台を訪問。

11 月「盛岡 YMCA 宮古地域復興事業の支援の輪を広げる活動として講演会を開催。その講演会の内容の DVC を作成し支援金を募って被災地支援にあてている。

2) 宝塚クラブが中心となって 3 月 11 日に地域の障がい者の施設、作業所の方々とともに地域団体との共催、東日本支援プロジェクト「揚がれ希望の凧」のプログラムを実施。 約 150 人の参加。

そのイベントとして 3 月 7 日～10 日の期間に障がい者の方々の「きらりと輝くアート展」を開催。 参加者のべ 150 人。

3. クリスマスキャロルの夕べ

宝塚クラブが中心となり、12 月に第 10 回チャリティ市民クリスマスキャロルの夕べを開催。 約 500 人の参加。

4. さんだクラブが中心となり、バレンタインコンサート開催 参加者 70 人

5. さんだクラブはカルガモ園の夏祭り、芦屋クラブは留学生交流会、地域の桜祭りに参加。神戸学園都市は YMCA とワイワイ祭り、宝塚クラブはチャリティバザーの開催などそれぞれに地域活動を実施。

EMC 事業

六甲部 EMC 事業委員会を 3 回開催。2 月現在の会員数 142 人だったが 6 月末になり 6 人の退会者が出た事はとても残念であった。

ユース会員の獲得が各クラブにおいて課題になっているがなかなかその達成は難しい。ユースメンバーの入会を意識して、第一回評議会のあと EMC 事業として主題を「ユースとの繋がりを進めるため」とし、六甲部ユース世代の声を聞く会をシンポジウム形式で進め、世界 YMCA 大会に参加したユースメンバーからの報告も聞くことができた。

4/21 芦屋クラブが後援した芦屋クラブ島田恒ワイズの出版記念会には約 150 人の参加者があり、EMC に繋がる事を意識しての配慮がなされた行事であった。

国際・交流事業

第一回及び第二回評議会後 8 クラブ交流会を開催。

今期は神戸 YMCA のパートナーYMCA であるシアトル、タイ、台湾、韓国、中国から神戸 Y への訪問が二度あり、その時に六甲部としてホスト役をつとめ交流の時を共有した。

IBC 締結に向けて神戸ポートクラブとタイチェンライクラブが準備中。

広報事業

六甲部ホームページの更新がなされたが各クラブの活用が充分でない。

神戸 YMCA チャリティイベントの報告を西日本区のホームページにアップ

メネット事業

1) 3/14 神戸クラブメネット 50 周年記念

神戸外人クラブで開催。約 150 人の参加。

2) 4/4 希少難病支援チャリティコンサート

神戸栄光教会で開催。約 300 人の参加。

希少難病研究東海大学へ 208,143 円の献金がなされた。

その他

- ・ 六甲部部則の見直しのために部則改定委員会を 2 度開催して協議を進め次期へとつなぐ。
- ・ 西日本区の最期の役員会で六甲部に与えられた次次期理事候補の選出に関しては今期の最期になりましたが、神戸ポートクラブの大野勉ワイズを六甲部から 2017~18 年度の理事候補として推薦し、西日本区での手続きへと移行。